

## 議会運営委員会記録

招集年月日	令和 5 年 6 月 14 日 (水)			
招集場所	日高市役所 第2委員会室			
開閉の日時	開 会    6 月 14 日    午前 10 時 33 分			
	閉 会    6 月 14 日    午前 10 時 53 分			
出席委員	委員長	加藤大輔	副委員長	山田一繁
	委員	松尾万葉香	委員	三木伸也
	委員	大澤博行	委員	森崎成喜
	議長	鈴木健夫	副議長	和田貴弘
欠席委員	なし			
説明のため出席した者の職氏名	なし			
書記	事務局長	林政男	次長	吉田聡明
	主幹	金子砂知子	主事	小山和也
事件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット導入の検討について</li> <li>・議会改革の進め方について</li> </ul>			
調査の経過				
(別紙のとおり)				

## 調 査 の 経 過

<開 会> (午前10時33分)

- **加藤委員長** ただいまの出席委員は、全員であります。  
これより議会運営委員会を開会します。

<タブレット導入の検討について>

- **加藤委員長** 本日の議題は、全員協議会で決定しました、タブレット導入の検討でございます。タブレット導入については、これまで視察等を行ってまいりましたが、それらのことから考えますと、導入までに検討すべき項目や課題が多いこと、導入後の運用に慣れていくことにも時間を要することが予想されます。そういった意味では、早めに検討を始め、早期の実現を目指していきたいと考え、急遽ではございますが、委員会を開かせていただきました。

つきましては、3点確認をいたします。

1点目、私の方で事務局に確認し、最短で導入できるスケジュールを次回の委員会で提示したいと考えます。

2点目、次回の委員会で検討項目の洗い出しを行いたいと考えます。その際、私の方からたたき台となる検討項目を提示させていただきますので、各委員には、検討すべき内容を研究しておいていただき、そのたたき台に対して追加・削除をしていきたいと思っております。また、議論の進み具合にもよりますが、タブレット導入の目的や導入時期の目標あたりまでを次回の議題としたいと考えます。

3点目、早期導入実現を目指し、次回の委員会を6月23日（金）一般質問の最終日、午後1時30分から行いたいと考えます。

以上3点、検討開始にあたっての段取りについて考えをお伝えしましたが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

- **大澤委員** 予算も含めて検討するのか。というのも、議員間のみで使用するなら安価でできると思うが、視察先で勉強させてもらってきたが、有効に活用できているのは執行部とやり取りができるものを取り入れている。そうすると予算がかかってくるので、その辺はどうなのか。予算も含めて検討するならいいと思う。
- **加藤委員長** 検討項目の1つであると思う。執行部に予算のヒヤリング等行っていかななくてはならないと思いますので、その辺の段取りを事務局に確認していきたいと思えます。
- **松尾委員** 視察に行かれたと話がありましたが、その時の資料があればいただきたい。
- **事務局** 用意できます。
- **加藤委員長** では、委員全員分用意していただくようお願いします。

ほかに何かありますか。

- **山田委員** 議会基本条例はスケジュールありきできれいにまとまった。今回もスケジュールを示すということで、スケジュールありきということも大切だが、スケジュールに縛られずじっくり検討していくけど、でも早くお願いしたいと思います。また、予算が絡むので事務局が重要になってくる。議会改革はスタートした時点から今、第2ステージに入っていて、次が第3ステージへと進化していくので、これが完成ではない、ということを見ると事務局のポジションが大切になる。市長部局とのお金のやり取りの中で、構想ができたが予算がありませんといったことでは絵に描いた餅になってしまうので、その辺の橋渡しを委員長と事務局長でタッグを組んでいただいて実現可能な方向にもって行っていただきたいと思っております。
- **加藤委員長** 他に意見はございますか。
  - (なし)
  - それでは、そのように進めてまいりますよろしいでしょうか。
  - (はい)
  - それでは、そのように進めてまいります。

#### <議会改革の進め方について>

- **加藤委員長** 次に、朝の議会運営委員会で議題となりました議会改革の進め方についてでございますが、委員の皆様からご意見をお聞かせいただければと思います。朝にご意見をお伺いする旨を確認してからあまり時間ありませんが、意見がある方があれば、お願いしたいと思います。いかがでしょうか。
- **山田委員** 議会改革を進めるにあたり、先ほども話をしたが議会改革は全国的には第2ステージに入ってきた。日本で一番初めに唱えたのが三重県知事だった北川正恭氏でその弟子たちが全国に散らばっている。その流れの中で議会改革の原理原則とは何なのかということを押さえておく必要がある。個人の努力は足し算なので積み上がっていくものであるが、議会となると議員が協力していかないといけない。協力は掛け算で誰かがそっぽを向いてしまうとゼロになってしまう。議会改革の原理原則というのは権能を高めることである。権能を高めるために、結論にはなりますが、1期生の議員も増えたことから、議員全員で北川正恭氏から原理原則のレクチャーを受けて、みんなで同じ方向を向いて日高市にあった議会改革を目指して尊敬される議会を作っていかなきゃいけないと思っています。ぜひ、いい先生をこちらでセレクトして、お招きして、原理原則を勉強して、原点を確認したうえで再出発するのがよろしいのではないかと提案です。
- **大澤委員** 新しい議員も今のことを理解したうえで、改革を進めることができるわけで、そういった新人のためにも、あるいは期を重ねた議員も初心に戻って勉強するといった意味も含めていい提案だと思います。
- **松尾委員** 共感いたします。議会改革といっても何に向かっていくのか全員で確認でき

たほうが議論しやすいと思う。予算が絡むことがあると思うので項目の洗い出しをして優先順位をつけてといった議論ができればいいと思います。

- **三木委員** 賛成です。ベクトルを合わせていかなければ議会改革は進まない。喜多方市の本を読むと議会で本を出してるくらいベクトルが一緒なんです。だからこそ改革が進んでいくと思います。
- **森崎委員** 議員を長くなっている中でいろんなこと経験してきました。その中で一番考えるのは、みんなで同じ方向を向いて、話し合いをしていけば議会改革も進むと思います。
- **加藤委員長** 皆さまからの意見をお聞きしますと山田委員からご提案の原理原則を再確認してそのところから再出発をするということでしたけれども、そのように進めてよろしいでしょうか。

(はい)

そのように進めます。議会改革については、改めて議会改革の本質の確認を行うことにします。つきましては、講演会または勉強会開催を検討して、提案者である山田委員と調整し、後日、本委員会で、その内容について委員長から提案しようと思いますが、よろしいでしょうか。

(意義なし)

では、そのように対応します。

その他、何かございますでしょうか。

- **山田委員** その提案は6月23日になりますか。
- **加藤委員長** 間に合えば方向性をお示ししたいと思います。

#### <その他>

- **加藤委員長** 先ほど全協で議場のモニターの話が出ましたが個別具体的なことを増やしていってしまうと前に進まないのでタブレットに関連してご意見が出てくると思われることと、原理原則を再確認してからやるべきことを精査しましょうというお話でしたのでそのような対応でよろしいでしょうか。
- **山田委員** タブレットは先行しているから進めてよろしいんじゃないですか。それと並行して先生からレクチャーを受けるということでもよろしいんじゃないでしょうか。
- **加藤委員長** はい、そのように進めます。タブレットに関しては検討することも多いので議会中だけでは終わらないのでその都度会議を行うことを決定していく形をとらせていただきたいと思います。
- **大澤委員** タブレットに詳しい人とそうでない人と大きな差が生じてしまう。詳しい人は積極的に発信していただいて、そうでない人に教えていただいて、いろんな項目や案を出していただきたいと思います。
- **加藤委員長** 協力しながら積極的にやっていただければと思います。

他に委員の皆様から何かありますか。

(なし)

<閉 会> (午前10時53分)

。加藤委員長 以上で、議会運営委員会を散会します。ご苦勞様でした。

議会運営委員会

委員長 加 藤 大 輔